

令和元年度 災害対策特別委員会 活動報告

令和元年度中における災害対策特別委員会の活動状況について、本書のとおり報告します。

令和2年3月30日

墨田区議会議長

田中邦友様

災害対策特別委員長

福田はるみ

1 委員会の目的

防災対策、不燃化及び耐震化の促進並びに災害復興対策に関する諸問題について、総合的に調査し対策を検討する。

2 委員会の開会実績

回数	開会日時	調査内容
	令和元年 5月27日 14:13~14:25	1 正副委員長の互選
第1回	8月1日 10:00~11:21	1 墨田区地域防災計画(平成30年度修正)の概要について 2 避難勧告等に関するガイドラインの改定について
第2回	10月25日 10:01~12:15	1 台風19号への対応状況等について 2 行政調査について
第3回	12月12日 13:00~15:54	1 防災体験学習施設「そなエリア東京」の現地調査について
第4回	12月26日 10:01~12:21	1 台風への対応に係る課題と対応策等について
	令和2年 3月30日 18:10~18:15	1 「令和元年度 災害対策特別委員会 活動報告」について

3 委員会における各種実施状況

項 目		実施の有無 (/ ×)
行政調査の実施		○
議会基本条例 第13条関係	委員相互間の議論	×
	議事堂外の場所における委員会の開会	×
	区民等との意見交換会等の開催	×
議会基本条例 第14条関係	政策立案及び政策提言の積極的な実施	×
	条例案（区長が提出した条例案に対する修正案を含む。）の提出	×
議会基本条例 第20条関係	公聴会の開会	×
	参考人の招致	×

実施概要

1 行政調査の実施

防災対策に関する調査・検討の参考に資するため、行政調査を実施した。

- (1) 日 時 令和元年12月12日(木) 午後1:00～
- (2) 場 所 江東区有明三丁目8番35号 そなエリア東京
- (3) 調査事項 防災体験学習施設「そなエリア東京」について
- (4) 参加者 委員10人、理事者5人、事務局4人

4 委員長所見（今年度の委員会活動状況、次年度も本委員会を継続して設置する必要性など）

令和元年度は、九州豪雨（8月）、台風第15号（9月）、台風第19号（10月）など、激甚災害に指定される災害が多く発生した。特に、台風第19号は、各地に大きな爪跡を残し、本区においても災害対策本部を立ち上げ避難所を開設するなど、その対応に追われることとなった。区長を先頭に懸命な対応がなされたものの、ホームページがつかない、防災無線が聞こえないといった情報発信に関する課題のほか、避難所の開設や職員の参集体制といった点に様々な課題があることが浮き彫りとなった。本委員会では、区の対応について調査・検討を行い、区に対し、情報発信体制の見直しや災害対策マニュアルの再構築など、災害対応力の一層の向上を図るよう求めた。

12月には、防災体験学習施設「そなエリア東京」の現地調査を行い、最新の災害対応設備を見学し、防災意識啓発の必要性和広域的な災害対策の重要性を再確認した。

江東5区広域避難推進協議会では、現在、国や都に対し、具体的な広域避難先等に関する協議を重ねており、その動向を注視していく必要がある。また、墨田区議会基本条例の運用に係る検討課題 30「災害時の対応に関する規程の策定」については、議会BCP（事業継続計画）の検討も含め、本委員会で検討・協議することとされており、課題は山積している。

災害に弱い地域特性を有する本区にとって、今後、高い確率で発生が予想されている首都直下地震や南海トラフ地震への備えはもとより、近年頻発する集中豪雨や大型台風といった風水害への対策は依然として区政の最重要課題であることから、本委員会は、来年度も引き続き設置すべきものとする。